

グローバルモビリティサービスと大日本印刷、
東南アジアにおける物流配送マッチングサービスが
「MaaS アワード 2020」のビジネスモデル部門で優秀賞を受賞
～モビリティの FinTech サービスとして初～

Global Mobility Service 株式会社（代表取締役 社長執行役員/CEO：中島 徳至、以下「GMS」）と大日本印刷株式会社（代表取締役社長：北島 義斉、以下「DNP」）は、急速な経済成長を続けているフィリピンをはじめとして東南アジアにおける物流課題の解決を目指して、両社が事業開発に取り組む物流配送マッチングサービス（以下、「本サービス」）が「MaaS*1 & Innovative Business Model AWARD（通称：MaaS アワード）2020」のビジネスモデル部門で優秀賞を受賞しました。

*1 「MaaS」とは、Mobility as a Service の略称で、自動車などのモビリティ（移動手段）をサービスとして提供することを指します。

【物流配送マッチングサービスの主な特長】

- ・ウェブやスマートフォンのアプリケーションを使って、荷主とトラックドライバーをマッチングするサービスです。
- ・本サービスでは、クラウド環境にて、最適な配送ルートの設定、トラックの位置情報や運行履歴等の管理、デジタル配送証明書の発行などを行います。
- ・ドライバーが個人事業主である場合は、旺盛な配送需要に対して、運転中に配送の注文を受けたり、複数の配送案件の最短ルートを設定して効率を高めたりすることが困難でした。本サービスの活用によって、物流の効率化を図り、より多くの配送案件に確実に対応することが可能になります。

【フィリピン～東南アジアでの本サービス開始の背景について】

フィリピンでは、急速な経済成長による物流量の増加に対して、都心部の深刻な渋滞や物流事業者の不足などにより、生活者が日常的に利用する店舗等に品物が届かないという問題が発生しています。物流システムの整備が求められるなかで本サービスは、GMS の FinTech サービスと DNP の開発したクラウドシステムを用いて実現されました。GMS は真面目に働くために自動車が必要にもかかわらず、与信審査を通過できない貧困・低所得層がローンを利用して自動車を所有できるように、IoT 技術を活用した FinTech サービスを提供しています。この FinTech サービスを活用してトライシクル（三輪タクシー）のローンを完済した優良ドライバーが、本サービスでも同様のローンを利用して小型トラックを購入し、個人事業主として配送を行います。さらに、こうして小型トラックを購入したドライバーがローンを返済していくためには、多くの仕事を効率的に進めていく必要があるため、DNP はドライバーと荷主のマッチングを行い、最適配送ルート設定やトラックの位置情報、運行履歴やデジタル配送証明書発行などの機能を有するクラウドシステムを開発しました。

本サービスにより、個人事業主であるドライバーが、旺盛な配送需要を追い風として安定的な仕事量を獲得できるとともに、荷主はより多くの品物をタイムリーに届けられるようになり、経済成長のボトルネックとなる物流課題の解決に寄与していきます。

また、本サービスを通じて、フィリピンをはじめ東南アジア全体の低所得層の所得向上にも貢献することが可能であり、こうした社会課題の解決に向けて、GMS と DNP は 2018 年に資本業務提携契約を締結し、両社共同で 2019 年 7 月よりフィリピン大手食品・日雑品卸と組んで物流配送マッチングサービスの実証実験を経て、事業開発に取り組んでいます。

【「MaaS アワード 2020」について】

公共交通機関や自動車などの移動手段を IT を用いてシームレスに結びつけ、人々が効率よく便利に使えるようにするとともに、社会課題の解決につながる手段として、各業界が「MaaS」に注目しています。そのなかで、今年、モビリティと技術を連動させた「モビリティテック」分野の革新的な製品・サービスやビジネス、社会的に意義のある画期的な取り組みや連携事例、交通や生活を一変させる新しい挑戦などを評価する「MaaS アワード」が創設されました。今回、DNP と GMS が推進する物流配送マッチングサービスが高い評価を受け、本アワードの「ビジネスモデル部門」で優秀賞を受賞しました。

【今後の取り組み】

DNP と GMS は、2019 年 7 月より、フィリピンのマニラ南部にて、5 台の小型トラックで本サービスの実証実験を実施しており、今後はトラックを増台するとともに事業性を確認の上、2020 年度中の事業化を目指しています。

今後両社は、本サービスをフィリピン以外の東南アジア全域へも展開し、個人事業主として配送を行うドライバーと荷主に本サービスを提供し、2023 年度までに年間 10 億円の取扱高を目指します。

※プレスリリースに掲載されている内容、資本関連、サービス、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。予告なしに変更となる場合があります。

< 本件に関する報道関係者のお問い合わせ先 >

Global Mobility Service 株式会社

担当：大久保、深田

電話：03-6264-3113

FAX：03-6264-3322

E-mail: press@global-mobility-service.com

URL: <http://www.global-mobility-service.com/>

■DNP 大日本印刷株式会社の概要

会社名	大日本印刷株式会社
代表者	代表取締役社長 北島 義斉 i
所在地	東京都新宿区市谷加賀町 1 丁目 1 番 1 号
事業内容	印刷技術や情報技術を生かした事業の拡大と多様な製品の開発 「印刷と情報」技術の強みを掛け合わせたパートナーの協働と社会課題の解決
設立日	1894 年 1 月 19 日

■Global Mobility Service 株式会社の概要

GMS は、独自開発の自動車の遠隔起動制御を可能にする IoT デバイス「MCCS*1」とモビリティサービスプラットフォーム「MSPF*2」を活用した FinTech サービスモデルを構築し、日本国内および ASEAN 各国市場に提供しています。2019 年 3 月には日本経済団体連合会（経団連）へ入会し、Society5.0 for SDGs と親和性の高いビジネスモデルとして注目され、また、代表の中島は経済産業省の「SDGs 経営/ESG 投資研究会」の委員に選出され、「SDGs 経営ガイド」の発行に寄与するなど、SDGs 達成に向けたモデルケース事業として高く評価いただいております。

*1 「MCCS」とは、Mobility-Cloud Connecting System の略称で、自動車の位置情報を特定すると共に、安全に自動車のエンジン遠隔起動制御やセンシングを可能にするシステムです。

*2 「MSPF」とは、Mobility Service Platform の略称で、モビリティを対象とした管理・制御・データ分析等を行い、クラウド上で Open API を通じた外部システムとの連携を可能にするプラットフォームシステムです。

会 社 名	Global Mobility Service 株式会社
代 表 者	代表取締役 社長執行役員／CEO 中島 徳至
所 在 地	東京都港区芝大門1丁目12番16号 住友芝大門ビル2号館 4階
事 業 内 容	モビリティサービスプラットフォームの提供 クラウド上に蓄積したビッグデータの二次活用サービス
設 立 日	2013年11月25日